

令和3年度主催事業「家族でキャンプ in 英彦山」

- 期 日：令和3年11月20日（土）～令和3年11月21日（日）
- 開催場所：英彦山青年の家、藤川椎茸園
- 参加者：9家族 40名
- 目 標：
 - ①自然豊かな英彦山を舞台に、家族で野外調理や英彦山探検等の自然体験活動に取り組む機会を通して、家族間のコミュニケーションの増加を図る。
 - ②自然のよさや自然体験活動の楽しさを家族で共感し、継続的に自然体験活動に取り組む家族の増加を図る。

活動1：椎茸収穫体験

地域との連携を図り、藤川椎茸園にて椎茸収穫体験を行いました。家族全員で行える活動だったため、どの家族も収穫をとっても楽しんでいて夕食のバーベキューと朝食の椎茸スープに向け、たくさん椎茸を収穫することができました！



椎茸が生えるのに2年程かかることを初めて知った。

椎茸がこんなところにあるんだと思った。

活動2：テント設営体験



午後からは、テント設営体験にチャレンジしました。家族みんなで声を掛け合って協力しながらテントを設営することができました。室内でテントを設営した家族は、その夜テントで就寝しました。初めてテントに泊まる子どもたちはテントで寝る際とてもわくわくしている様子が見られました。

テントを購入し、また家族でテント泊をしたい。

活動3：のんびり自由タイム（英彦山BIGシャボン玉&ハンモック体験）

テント張り体験が終わった後は、英彦山BIGシャボン玉づくりやハンモック体験をしました。シャボン玉づくりでは、普段は作れないBIGシャボン玉に感動し、たくさん写真を撮っていました。メタセコイアの木々の間に設置したハンモックは、紅葉を眺めながら秋の心地よい風を感じることができ、大人も子どももとても気持ち良さそうでした。

なかなかできない体験で楽しかった。



活動4：火起こし体験&バーベキュー



夕食では、自分たちで起こした火を使いライスクッカーでお米を炊いたり、収穫した椎茸を焼いたりしました。火起こしにはファイヤースターターという道具を使いました。麻ひもになかなか火がつかず、薪へ着火させるのはとても大変でしたが、家族で何度も挑戦した結果、火が起きた時の感動はとても大きかったようです。また自分の手で収穫した椎茸や家族で協力しながら火を起こして炊いたお米の味は格別だったようです！さらに、バーベキューの後は焚火をしたり、マシュマロを焼いたりするなど、家族で心安らぐ時間を過ごされていました。

自然の材料だけで火を起こせると知りびっくりした。

活動5：家族でクッキング（ホットサンド&椎茸スープづくり）

2日目の朝食では、ホットサンドと自分で収穫した椎茸を使いスープづくりを行いました。ホットサンドは、いろいろな具材を家族で選び、オリジナルのホットサンドを作ることができました。椎茸スープづくりでは、「椎茸が苦手だったけど、チャレンジしたら、大好きになった」などの声も聞かれました。また栄養教諭による『きのこについての食育』の話も、大人も子どもも興味津々に聞いていました。どの家族も自分たちで作った朝食を笑顔でおいしそうに食べていました！



協力することで自分の役割の大切さを学べた。

家族で話し合うことでスムーズにできた。

《全体を通して》

英彦山の豊かな自然や英彦山周辺地域の魅力に触れながら、どの活動においても家族でコミュニケーションをとりながら笑顔で楽しむ姿が見られました。終了後のアンケートでは「寝転んでみた星空がキレイだった。贅沢な気分になった。」「来年は家族だけでキャンプデビューしようと思います！」「また絶対に来たい！」などの声を聞くことができました。家族で非日常体験を味わうことで、日常生活のありがたさに気づけたり、家族との協力や知恵が生まれたりし、家族で自然体験活動に取り組むよさを感じてもらうことができたと考えます。

今回の事業への参加が、これからも家族で継続的に自然体験活動に取り組むきっかけになればと思います。参加してくださった皆様、本当にありがとうございました！